

美和ロック edLOCK 取付説明書 (TKS-9100LS LA-丸座 用)

取付ができる錠前：LA (本ページは丸座取付説明です。長座取付の場合は裏面を参照ください。)

取付けできる扉厚：36mm~40mm

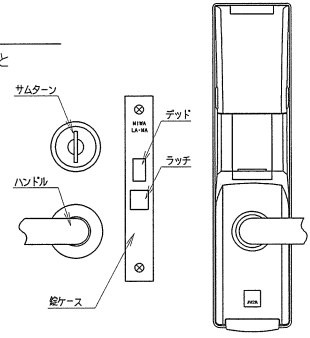
必要な工具：1. プラスドライバー (先のあまり細くないもの) 2. マイナスドライバー

1. 現在の扉と錠前の点検

錠ケース、サムターン及びハンドルは現在取付しているものを使用します。扉と錠前の状況が良くないとedLOCKもうまく機能しません。あらかじめ作動良好であることを手順にそってご確認ください。

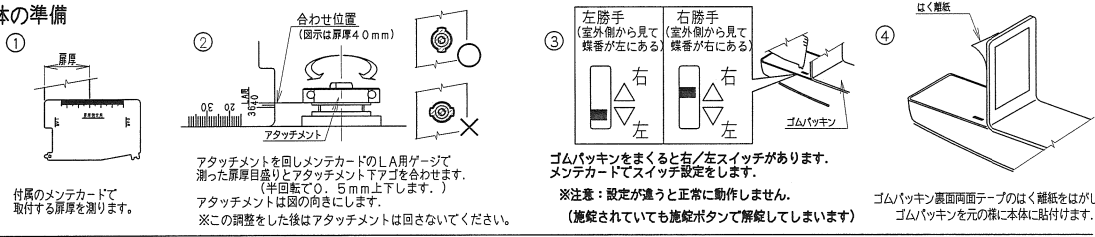
重要

手順	確認内容	チェックポイント	対策
1	錠とストライク(受け)の位置 扉を閉めた状態でデッドやラッチが滑らかに動きますか?	デッドやラッチがストライクに当たったりせりたりしていませんか。扉にガタつきなどはありませんか。	取付ネジをゆるめ、位置を調整した後再度ネジをしっかりと締付けします。扉の丁番ネジをしっかりと締付けします。
2	サムターンとデッドの作動 サムターン(内側施錠ツマミ)が垂直/水平に滑らかに動きますか? その動きでデッドが滑らかに動きますか?	サムターンは90°回転できますか。サムターンの回転は滑かですか。デッドはフルストローク動作しますか。	作動部のサビ/ゴミを取り除きます。作動部に油またはグリスを塗布します。
3	ハンドルとラッチの作動 ハンドルは滑らかに操作できますか? ハンドルの戻りは滑かですか。ラッチはバネ力により元に戻りますか?	ハンドルは滑らかに回転できますか。ハンドルの戻りは滑かですか。ラッチはバネ力により元に戻りますか。	作動部のサビ/ゴミを取り除きます。作動部に油またはグリスを塗布します。
4	故障発生の可能性につながる現象 強度耐久性、環境による機能低下の現象は出ていませんか?	著しい摩耗、ガタつき、変形、さび、腐食はないですか。	作動部のサビ/ゴミを取り除きます。作動部に油またはグリスを塗布します。ハンドルセット、サムターンセット、錠ケース本体、ストライク等の交換をします。



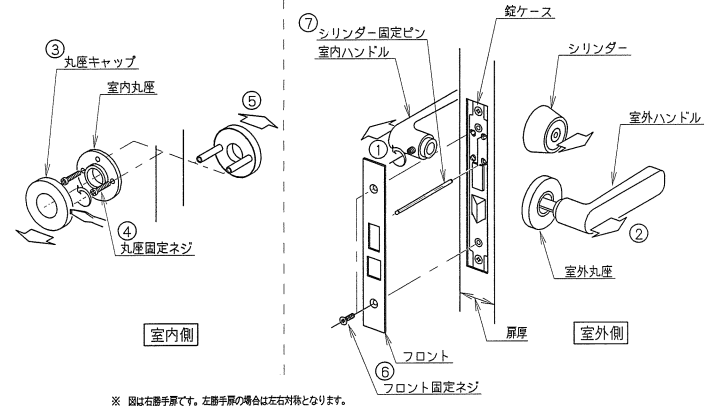
2. 取付する前の本体の準備

注意
暗証番号を設定するときの他はリセットキーを差したままのテンキー操作はしないでください。作動不良となることがあります。



3. 現在取付している部品の取外し

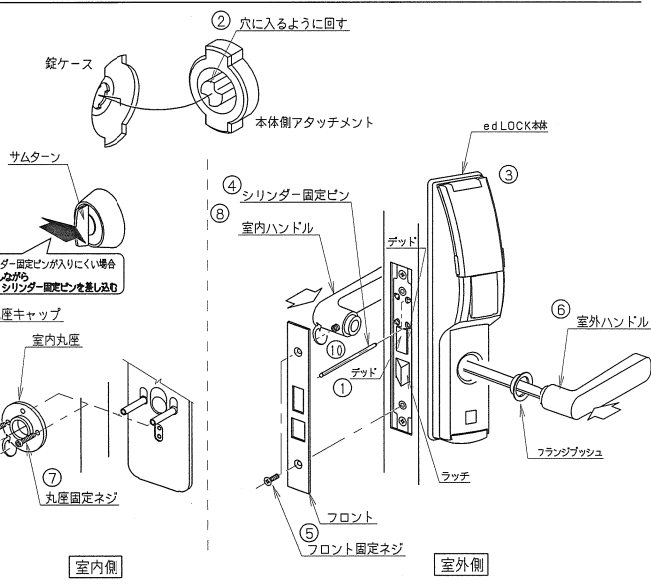
取外した部品、ネジ類はedLOCK取付に使用します。なくさないようにしてください。



- ① 室内ハンドルの根元のネジをゆるめ 室内ハンドルを引き抜きます。
 - ② 角芯と一体の室外ハンドルを引き抜きます。
 - ③ 室内丸座キャップの側面 凹部に⊖ドライバーをかけ扉にキズを付けないよう注意しながらキャップを外します。(保護のため薄い金属板などを使用してください)
 - ④ 室内丸座固定ネジ2本をゆるめ 室内丸座を外します。
 - ⑤ 室外丸座はそのまま引き抜きます。
 - ⑥ 扉側面のフロント固定ネジ2本をゆるめ フロントを外します。
注) フロントを外した状態でドアを閉めないでください。
(ラッチが引き込みなくなる可能性があります)
 - ⑦ ⊖ドライバーでシリンダー固定ピン2本の頭部を少し引き出し片手でシリンダーを押さえながらシリンダー固定ピンを抜きシリンダーを外します。
(室内サムターン(施錠ツマミ)と錠ケースはそのままにしておきます。)
- ※ 外して残ったシリンダーと室外丸座は保管しておいてください。

4. edLOCKの取付

- ① サムターンを回しデッド(かんぬき)を引っ込めた状態にします。(解錠状態)
- ② 右図のようにアタッチメント先端の突起を錠ケースの穴に合うよう回します。
- ③ edLOCK本体にゴムパッキンがはみ出てきたことを確認し、扉の外側から取付します。パッキンのまくれやはみ込みには充分注意してください。
- ④ 本体を扉にしっかりと押し付けシリンダー固定ピン2本を頭が窪みに入るまで挿入します。
(シリンダー固定ピンが入りにくい場合にはシリンダー固定ピンを止まる所まで差した後サムターンを手で押しながらシリンダー固定ピンを最後まで差し込みます。)
- ⑤ フロントをフロント固定ネジ2本で取付します。
- ⑥ 室外側より角芯にフランジブッシュを入れ室外ハンドルを挿入します。
(フランジブッシュは大小2種類を付属しています。取付けるハンドルに合った方を使用してください)
- ⑦ 室内側より室内丸座を丸座固定ネジ2本で仮止めします。
- ⑧ 室内ハンドルを角芯に挿入しハンドルが滑かに収まり操作できる様位置調整し一旦室内ハンドルは抜き丸座固定ネジ2本を締付けます。
- ⑨ 丸座キャップを凹部と内側丸座の凹部を合わせ キャップをはめ込みます。
- ⑩ 再び室内ハンドルを角芯に挿入し根元のネジをしっかりと締め付けます。
- ⑪ ハンドル操作で、ラッチが滑らかに作動すること。サムターン操作で、デッドが滑らかに作動することを確認します。



※ 施・解錠時、デッド(かんぬき)が作動しない場合は、ラッチがストライク(扉枠の受け)にきちんと収まっていない可能性がありますので、扉を押してラッチを確実にストライクに入れてから改めて、施・解錠操作を行ってください。

これで取付は終了しました。
操作方法などは取扱い説明書をご覧ください。